

たくさんの
まちの声、

まちかど 座談会から

皆さんの思いを
伺いました



市長、助役、教育長などが、市政に対する率直なご質問、ご要望を市民の皆さんから直接お聴きする「まちかど座談会」。小学校区単位全20会場で、主に7月と10月の2か月間開催し、715人の参加者から382件のご質問やご要望をいただきました。その一部を紹介します。

都市整備



下水道の早期実現を

Q 下水道整備工事の予定を説明してほしい。

A 平成14年度末現在の下水道普及率は、46・5％となりましたが、全国平均の普及率からするとまだ低く、現在は市街化区域及び油ヶ淵の水質浄化を目的として、油ヶ淵流域の下流から優先的に整備を進めています。

これからも、快適な環境、水質

交通渋滞について

Q 北部地域の交通渋滞の抜本的解決策は。

浄化のため計画的に下水道事業を進めていきます。

A 市内北部地域の交通渋滞は、地域を東西に並行して走る国道1号の交差点信号及び名鉄本線の踏み切りの停止時間が長いために起る渋滞です。抜本的解消方法としては、鉄道の連続立体化が必要と考えますが、既に市街地が形成された当地域においては、物理的・財政的にも早期の整備は困難であ

教育



新設小学校について

Q 新設される小学校の進行状況を教えてください。

A 本市には、現在小学校が20校ありますが、作野小学校と二本木小学校の間にもう1校、平成18年度開校を目指して建設計画を進めています。

まず、学区について関係町内会との慎重な協議を重ね、結果的に、二本木小学校は概ねJR東海道新幹線で分け、作野小学校は、概ね県道「安城八ッ田知立線」で分けることで合意を得ました。また、学校用地についても、それぞれの町内会から選出された用地検討委員による協議の結果、案が決定されましたので、今後、地権者説明会などを開催して、用地交渉に入っていく予定です。

生活環境



ごみの投げ捨て対策について

Q マナーを高め、きれいな街にする対策は。

A 本市は、空き缶等散乱防止条例を平成7年に制定し、以後空き缶やタバコの吸い殻などのポイ捨てを防止するために、毎年市民の皆さんにご参加をいただいて、ポイ捨てごみの清掃活動や、市内の主要交差点などに、ポイ捨て禁止の看板を設置するなどして、広く市民にごみのポイ捨てをしないように呼びかけています。市としては、自主的な清掃活動を支援するなど、社会全体のモラルの向上を目指すような啓発活動を進めていきたいと考えています。





Q 災害時の情報の伝達方法など、防災に対する市の取り組みについて聞かせてほしい。

A 地震災害の情報伝達手段とし

東海・東南海地震対策について

防災対策



はありませんが、とりあえずできることから考え、市の独自施策として今年7月から就学前の子どもの医療費の無料化を実施しました。さらに、各種の子育て支援策も検討・実施中です。今後とも、この問題に関しては、本市だけでなく県や国とも協力しながら積極的に取り組んでまいります。

て、サイレン及び警鐘、広報車・消防車の巡回、ケーブルテレビやエフエムラジオによる放送、インターネットホームページへの掲載、農協有線電話の一斉放送、町内会への一斉発信ファクスなどを用いて、市民の皆さんへ情報を提供していきます。

また、避難所や公共施設、病院、ライフラインなど防災関連施設・機関との情報交換のため、地域防災無線を設置し、電話が不通の場合にも連絡がとれるよう非常時に備えています。

ほかにも、聴覚障害者への情報伝達手段として、ファクスによる一斉発信システムの「テガルス」を導入しています。



まちづくり



更生病院跡地について

Q 活用方法を早期に決定し、それを実行すべきだという声が多い。どのような方針を持っているのか。

A 更生病院跡地は、JR安城駅の徒歩圏内にあり、中心市街地活性化の拠点として重要と考えてい

ます。跡地利用については、中心市街地活性化基本計画において、福祉・文化・学術の拠点と位置付けています。市としては、中心市街地活性化と市民交流拠点の視点から、その土地利用を図っていると考えています。また、市民レールでも、中心市街地活性化のため、まちづくりANJOが設立され、その中に更生病院跡地活用手法検討委員会が設置されています。行政や商工会議所・商店街連盟、南明治町内会連合会など更生病院周辺の皆さんだけでなく、青年会議所やまちづくり市民会議、社会福祉協議会など幅広い組織のメンバーにより構成されていますので、いろいろな視点から調査、研究をしています。具体的な施設については、こうした市民の皆さんからのご意見を伺いながら、現在策定中の第7次総合計画の中で方向性を明らかにしたいと思っています。

なお、現在は、各種のイベントや活動の場としてご利用いただけるよう、照明やベンチ、水飲み場を設置して、暫定的な整備がしてあります。年明けから多くの皆さんにご活用いただけたらと考えています。

碧海5市合併促進について

Q 問題点及び今後の見通しは。

A 本市及びこの地域のより一層

の発展のためには、5市合併が重要な選択肢の1つであると考え、前向きに取り組んでいます。しかしながら、合併は相手のあることであり、対象市の都合や考えを無視して進めることはできません。新聞などでご承知かとは思いますが、昨年、住民発議による合併に関する公式な協議の場である合併協議会の設置請求があり、各市の議会でも審議されましたが、碧南市議会の否決により白紙となりました。さらに合併に関する研究会を設置してもらいたいとの陳情がありました。これも碧南市議会の不採択及び他の2市においても消極的であったため、結局設置には至りませんでした。

このように合併の対象市の中に合併に関し消極的な市があるため、この問題の進展は困難な状況です。今後は、市民レベルの運動の盛り上がりや各市の状況を見極めつつ、機会をとらえて働きかけ、合併の機運の醸成に努めてまいりたいと考えています。

なお、合併対象として、5市以外の枠組みやとりあえず5市のうち4市とか3市での合併を考えてはというご意見もごさいますが、碧海5市の歴史的・経済的なつながりを考慮して、当面は5市の枠組みで合併問題を考えていきたいと思っています。

行政運営



ISO9001認証取得への取り組みについて

Q 平成16年3月までに取得するべく取り組みをスタートさせ、その内容結果を市行政に反映させるとしているが、もう少し具体的に現在の構想を聞かせてほしい。

A 本市は、環境の国際規格であるISO14001の認証を取得

していますが、今年度から、効率的な市民サービスを提供し、市民の満足度を高めるため、品質の国際規格であるISO9001の認証取得にも取り組んでいます。

ISO9001については、平成16年度早々での認証取得を目指していますが、行政事務のマニュアル化を図り、継続的な事務の改善を図るとともに、市民の皆さんのご意見をもとに職員の意識改革を進め、効率的な行政運営に努めていきたいと考えています。

市民の皆様へ

安城市長 神谷 学

まちかど座談会に多数のご参加をいただき、ありがとうございます。今後の市政運営に反映させていただいた貴重なご意見は、今後の

現在、平成17年度からスタートする第7次安城市総合計画の策定に向け、準備を進めているところです。今年度は皆様からの意見をできるだけきめ細かく伺う年、そして、来年度はその意見を集約する年と位置づけ、その一つとしてこの座談会を開催しました。

小学校区単位の全20回を数えた座談会では、励ましの声もあれば大変厳しいご意見もいただきました。しかし、各会場で市民の皆様から生の声を直接聴くことで、市の実情を知ることができました。

今後「ご意見BOX」や「市長へのメール」など様々な形で、皆様からのご意見やご提言をお待ちしています。

福祉



福祉センターの建設について

Q 南部地域に福祉センターを。

A 中学校区ごとに福祉センターを整備するため、これまでに総合福祉センターをはじめとして、北部、西部、作野の各福祉センターを建設してきました。今後の整備計画は、今年3月に策定しました第3次高齢者保健福祉計画（あんジョイプラン3）において、平成19年度までに、未整備となつてい

る4つの中学校区のうち、桜井中学校区と北中学校区の整備をしていくこととしています。南部地区については、その後ということになります。具体的検討する時期がまいましたら、農村センターのあり方を含め、地元の皆様のご意見を十分に伺いながら協議してまいります。

若者が安城に住みたくなる政策を

Q 子育てがしやすいまちになるよう、思い切った支援を。

A 急速に進展しつつある少子高齢化対策は、国家レベルの最重要課題の一つです。しかしながら、少子化は個人の価値観・人生観も関係する非常に奥の深い問題です。この問題に対する特効薬的な政策